

きづき・まなび・うごき

ならコープ 環境保全活動

2023年度

助成団体報告集



ならコープ®



2023年度 ならコープ環境保全活動助成団体報告集の発刊にあたって

ならコープは創立以来、「よりよい生活は、平和とよりよい環境の中でこそ実現する」との考えを事業と活動のベースにおき、持続可能な社会の実現をめざして様々な取り組みをすすめてまいりました。地球環境については、これ以上悪化させることなく、少しでも改善して次世代の子どもたちに引き継ぎたい、との想いを大切にしています。

地球温暖化にともなう気候危機に対する行動として「ひとづくり」「まちづくり」の視点で、奈良の豊かな自然と文化を守る取り組みを協同の力で実現することが、多くの市民が参加する組織としての責務であると認識し、その実現のために、行政や地域で活動される環境保全活動助成団体のみなさんと、協同して取り組んでいきたいと願っています。

2024年2月に開催した「2023年度 ならコープ環境保全活動団体交流会」では、15の全参加団体からご報告をいただき、双方向に交流することができました。本助成制度を活用されたことがない団体との交流も視野に入れ、環境保全活動団体交流会として広く、門戸を開いて開催いたしました。

ご参加いただいた、「春日山原始林を未来につなぐ会」、「アースデイ奈良実行委員会」、「馬見自然塾」、「奈良・人と自然の会」、「町思会」、「馬見シェアリングネイチャーの会」、「NPO 法人グリーンスポーツ奈良」、「緑友会」、「山守の会プラス彩雲ひろば」、「特定非営利活動法人サークルおてんとさん」、「東洋コウモリ研究所」、「若草ネイチャー倶楽部」、「里山の山野草を守る会」、「秋篠川源流を愛し育てる会」、「NPO 法人エコパートナー21」のみなさまの、活動を続ける上での共通の困りごとは、担い手不足・参加者不足・資金不足などと変わりませんが、団体同士での新たな取り組みがすすめられ、広がりができつつあるという、大変嬉しい話題もありました。改めて、本助成制度における意義を確認するとともに、助成団体同士の交流の大切さを感じました。

環境問題やくらしの様々な困りごとは、市民が行動をおこさなければ解決できません。まさしくこれまで生協がおこなってきた組合員の運動が今後、より重要になっていきます。ならコープの環境に対する取り組みや問題意識についての賛同者を増やし、地元の様々な団体と連携して、人と人との繋がりをさらに広げ、ならコープが軸となって奈良県内での環境問題の解決に向けての動きをすすめていきたいと考えています。

持続可能な社会の実現をめざして、私たち自らの消費行動やくらしのあり方の見直しを、今後もより一層すすめてまいりましょう。

市民生活協同組合ならコープ 理事長 吉田由香

2023年度環境保全活動 助成団体一覧

	団体名	主な活動場所
1	NPO法人 グリーンスポーツ奈良	ほっと青山畑 及び 鼓阪北小学校
2	若草ネイチャー倶楽部	奈良市東部地域の都市公園
3	いこま棚田クラブ	奈良県生駒市西畑町の棚田地区
4	山守の会プラス彩雲ひろば	奈良市桜井市
5	馬見シェアリングネイチャーの会	馬見丘陵公園
6	里山の山野草を守る会	桜井市三谷地区
7	奈良・人と自然の会	奈良県奈良市佐紀町、奈良坂にわたる「ならやま里山整備事業地」内ビオトープ池
8	町思会	奈良市高樋町(旧添上群五ヶ谷村字高樋)及び、その周辺地域
9	緑友会	「古都法買入地景観形成事業」西ノ京エリア
10	東洋コウモリ研究所	こうもり博物館(奈良市広岡町)
11	NPO法人 エコパートナー21	奈良市奈良阪町の農園
12	川西町・サークルお花畑	川西町 結崎公民館及びその周辺
13	馬見自然塾	県立馬見丘陵公園とその周辺
14	春日山原始林を未来へつなぐ会	春日山原始林(春日山遊歩道)
15	アースデイ奈良実行委員会	奈良公園登大路園地
16	特定非営利活動法人 サークルおてんとさん	奈良市ボランティア インフォメーションセンター
17	奈良県勤労者山岳連盟・山風舎	奈良県内の山やハイキングコース
18	秋篠川源流を愛し育てる会	秋篠川源流

NPO法人 グリーンスポーツ奈良

- ・ダンボールコンポストと新たに採用された木箱コンポスト「まわ〜る」を使って生ごみを有機肥料に変え活用しよう

生ごみを有機肥料に変え、燃やされる生ごみを減らして、ストップ地球温暖化活動に取り組みました。貴環境保全活動助成を活用して、ほっと青山畑において親子で、6月24日さつまいも苗(100株)12月2日たまねぎ苗(300株)植えを行いました。苗植えの前に、段ボールコンポストと木箱コンポスト「まわ〜る」を使って、生ごみリサイクル講習会を実施し、生成する有機肥料を使って、安心安全な野菜を育てる実践をしました。



若草ネイチャー倶楽部

- ・自然観察会を通じて幅広い年代へ自然環境の理解と関心を広げる

私たちの活動は、身近な自然の植物と触れ合うことで心と体の健康を促進し、質の高い教育を提供することを目指しています。近隣公園に出かけ、普段何気なく見ている植物をじっくり観察することによって今まで見過ごしてきた植物の生態を再発見することが出来ました。また、ルーペを使って植物のミクロの世界を学習しました。観察会の後室内座学ではより詳しく植物の構造を学習しました。年末には参加者が持ち寄った植物を一鉢に纏めた寄せ植え教室も開催しました。

植物観察会



寄せ植え教室



いこま棚田クラブ

・ 生駒市西畑地区の棚田・里山の再生と創造

ならコープさんと2006年度スタートした「菜の花エコプロジェクト」は、2019年度以降、菜の花を栽培するだけでなく、棚田の自然を通じて幅広い活動をすべく、親子での楽しい自然体験活動や山遊びにより生物多様性を身近に感じていただいています。いこま棚田クラブは2023年にクラブ創立満20年を迎えました。年間活動人数は52回でメンバー1576名、ゲスト参加者603名、合計は2179名となりました。



山守の会プラス彩雲ひろば

・ 里山林の保全と利用促進

1. 里山林の保全活動

桜が植栽後放置状態にあった緑地での剪定と草刈・旧棚田での植栽樹の手入れと草刈・大雨被害地の土砂除去や広場の回復等々地域の環境保全の一助を担った。

2. 里山の利用促進活動

例年同様幼稚園児、小学生をはじめ都市住民を里山に受け入れた。林内散策等多くの体験を通じて、森林の良さを体感し、里山にきっとある何かを感じてもらえたと思う。



馬見シェアリングネイチャーの会

- ・ネイチャーゲームや自然体験を通じて
自然を楽しみ自然と遊び自然を学ぶ喜びを知ること

親子対象のネイチャーゲーム体験会を馬見丘陵公園にて開催。また、会員研修として三峰山でシェアネイチャーウェルネス（自然の中のマインドフルネスプログラム）を新たに取り入れた勉強会も実施しました。

子どもから大人まで年齢に関係なく、自然と親しみ遊ぶ体験によって、自然を大切にしたい、関わりたいと思える心を醸成し、SDGsの目標達成にも貢献できる活動になればと思っています。

奈良県山の日川の日イベント
ネイチャーゲームと木工体験：集合写真



ネイチャーゲームと万華鏡作り：NG体験風景



里山の山野草を守る会

- ・里山の山野草を守る保全活動

2008年3月以来16年間、桜井市三谷地区で山野草自生地の保全活動を実施しています。新型コロナも他の感染症と同じ扱いに変わり、コロナ以前に近い活動に戻すことができました。ワイヤーメッシュを飛び越えて侵入するシカが現れたため、助成金で2m程の防獣杭等を購入しシカ対策を施しました。山野草は獣害対策をしたり、ササや草を刈ったり、山野草に合った環境を保つことが必要で、16年目の今年も継続することができました。



奈良・人と自然の会

- ・「ならやま里山景観整備事業」のビオトープ池の整備および絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」の育種環境の安定化

ビオトープに繋がる水路を整備し、ホタルや水生昆虫が棲む環境の実現を目指した。その結果、ホタルの飛翔が増えた、また、池や通路を整備して、人が安全に水辺に親しめる環境を維持することができた。タナゴの育種については近畿大学の協力を得て、田貝の棲める環境をバイオエリア全体に広げる取り組みを進めた。また自然の環境の下、一年を通じてバラタナゴ、田貝を育種する試みを始めた。さらなる育種環境の安定化を進めます。



2023年7月 西池に田貝育種用の木枠設置



2023年8月イベント(夏だ休みだ里山で遊ぼう)

町思会

- ・五ヶ谷の景観を守り、この地域の発展と活性化に寄与すると共に会・委員相互の親睦を図る。

今年も山の辺の道(奈良道)近くの畑にコスモスやヒマワリをいっぱい咲かせました、野菜も昨年同様、里芋・南瓜・じゃがいも等、手に余るほど育てました。

奈良マラソンのコースが域内を通ることから、毎年応援用に大きな案山子を作っています。今年はなんとなく仏像に見える仏像です。

助成頂いたお金は、肥料や資材購入に充当させていただきました。



緑友会

・「歴史と環境に配慮した景観保全活動」

今期の活動も新型コロナウイルス感染防止と熱中症対策をしながら、草刈り・剪定など景観の保全活動を実施しました。

環境保全活動では、昨年引続き雨水を貯水して灌水に利用することと、焼却時のダイオキシン発生を防ぐため黒マルチを廃止し、紙マルチでの雑草対策を行い、効果を得ることが出来ました。耕作後は土に還りました。

また、芋掘り会は地域の多くの子ども達と父兄で楽しく収穫体験をして頂きました。



東洋コウモリ研究所

・こうもり博物館の夜のいきもの観察会

室内レクチャー

こうもり博物館の夜のいきもの観察会は合計41名の参加者を迎え、無事開催することができました。

どんな姿をしてどんな暮らしをしているのかまったく知らなかったけれど、写真や実際の声を聴く事ができてよかったと感想をいただきました。

私たちの身近で生息しているコウモリの本当の姿を多くの方に知っていただける機会になったと思います。



野外観察風景



NPO法人 エコパートナー21

・ 子どもたちと食・農・環境への理解を深める活動

今年も25名の子どもたちを対象に農業体験の場を提供しました。お店で身近な蜂蜜、にんじん、じゃがいも、大根・・・それらを実際に自分で植え育て収穫する体験をみんなとても楽しんでいて、見ててうれしい1年でした。豚汁作りなどでも積極的に野菜を切りたがる子や、火を大きくするために枝を探す子、虫が苦手で大騒ぎする子など・・・1人1人の個性が見られました。これからも子どもたちと楽しい時間を一緒に過ごしていけたらと思います。



川西町・サークルお花畑

・ 花とみどりのまちづくり

この一年間はメンバーが協力し合って、順調に活動を進めることができました。植栽の面積を増やし、かつ多様な樹木や草花を増やし、四季の気候に合わせた維持・管理に務めました。

またコロナ禍で中止していた地域のイベントにも参加した活動の幅を広げることができました。今後も地域貢献活動を目的とした活動にも参画して、新しい仲間を増やしていきたいと思っています。



馬見自然塾

- ・「自然観察会を通じて環境問題の基礎力」を養う。

都市住民が都市公園など身近な場所で自然観察会をつづけていると、新たな発見があります。観察により、どのように草原(畑)が林から森に移行するのかがわかれば春日山原始林のような森の成り立ちと絶滅がわかります。また観察し続けることにより外来生物の侵入など里山の変化を調べることが出来ます。自然観察会は環境問題の基礎力をつける効果があると思っています。



春日山原始林を未来へつなぐ会

- ・「世界遺産春日山原始林観察会」

今年度は、野鳥、夜の虫、ネイチャーゲーム、石仏めぐりの4回の観察会を開催することができました。助成金をいただいたので、各観察会では研究者の先生を講師にお迎えすることができました。

夜の森でのライトトラップでは、昆虫だけでなくムササビも現れて参加者も喜んでいただきました。石仏めぐりでは、会員も知らなかった春日山の石仏の由来などについて学び、非常に充実した内容となりました。



アースデイ奈良実行委員会

- ・ アースデイ奈良2023「みんなで生み出そう、アースデイの波！」

奈良公園にて17回目を開催しました。約8000人の来場があり、外国からのお客さんも多く、家族連れの方にも楽しんでいきました。有機・地産地消の食べ物やNPO等の体験コーナー、75団体のブース出展、再生可能エネルギーを使ったステージ、SDGsな暮らしの提案などを展示し、多くの来場者が「マイ食器」持参でお越し下さったことで、環境負荷低減と感染症対策にも寄与できました。これらを機に「毎日がアースデイ」につなげていきたいと思えます。



特定非営利活動法人サークルおてんとさん

- ・ 地球温暖化エネルギー問題に関する講演会の開催

再生可能エネルギー経済学が専門の安田陽氏(京都大学大学院特任教授)の講演会を開催した。気候変動対策を低コストで実現するには、再エネ(特に太陽光と風力)の大量導入とエネルギー効率の高い機器、建物の断熱が不可欠で、低コストで実現できると話された。科学には不確実性があり、結論をすぐに求めず、温めておくことが大切と話されたことも印象的だった。公演中のオンラインアンケートでは環境意識が高い参加者が多いという結果だった。



奈良県勤労者山岳連盟・山風舎

・ グリーンハイク ～ステキなふるさとの自然を伝えよう～

今年度は山のトイレマナーを呼びかけながら活動を行いました。各会場ではごみ回収の他、登山道や道標点検、不法投棄調査、避難小屋や案内板掃除、高円山のナラ枯れ木へのビニールシート処理など、山が抱えている課題に取り組みました。「親子向け観察会」では、冬でも楽しんで自然に触れられる企画を立て、子どもたちの自然への興味関心を高めることが出来ました。取り巻く自然環境は厳しいものがありますが、今後も楽しみながら課題に取り組んでいきます。



秋篠川源流を愛し育てる会

・ 秋篠川の桜を守り地域を憩い ふれあい ときめきの場にする

堤防道路に垂れ下がる桜の枝は、円滑な農作業と安全な通行のため、奈良市・水利組合・愛し育てる会と樹木専門家の間で協議し、適切に管理することとしています。小規模な日常管理は愛する会で行ない、太枝切断等大規模管理は、市が行います。今年は、機械化による農作業車の移動に支障となる太枝の説明が市の発注で実施されましたが、4者の協議により、緑と景観の保全に配慮されました。



機械化に伴う農作業車と支障となる桜枝



農作業支障枝を切断し保全された桜並木

環境保全活動団体交流会

・ふれあいセンター六条 2月12日(月・祝)開催

はなそう・わかちあおう

ならコープ

環境保全活動団体交流会

2024.2.12(月・祝)
13:00~15:00

ふれあいセンター六条

ご参加お待ちしております。

01 助成を受けられている団体の方

02 助成を受けてみたいと考えている団体の方

03 地域の環境活動に興味がある方

私たちの身の回りは地球温暖化問題をはじめ、様々な環境問題があり、地域での活動の広がりごと大切で、2005年度から県内で環境保全活動に役立てていただくこと、レジ袋削減・買い物袋持参運動と並行して、レジ袋販売代金の一部を助成金として活用しています。今年度の環境保全活動団体は18団体を助成先となりました。

助成を受けている環境保全活動団体の皆様の活動報告・交流の場として開催します。是非ご参加ください。

連絡先

ならコープ 環境エネルギー推進室 参加申し込みは
0742-33-6443 月~金9時から17時 こちらから →



環境保全活動団体交流会を開催しました。15団体23名、合計で39人の参加がありました。団体の方の活動をパネル展示し、参加された団体の方からひと言ずつ、この間の成果や困りごとについて発言してもらい交流を深めました。能登半島地震災害募金の呼びかけもおこないました。

「ならコープ環境保全活動助成」とは

ならコープでは1979年の買い物袋持参運動・1982年にマイバッグ運動が始まりました。省資源・ごみ減量のため使い捨てのレジ袋を1982年より有料化し、ご負担いただいたレジ袋代金の一部を「環境資金」としています。2023年からはスプーン(大・小)やストローを有料化し対象を広げています。環境資金は、2005年度から奈良県内で環境保全活動を行う団体に対して助成金として活用していただいています。

応募要項(抜粋)

(1) 応募資格

奈良県内で活動する団体・グループ・サークル等(個人は除く)

(2) 助成の対象

地域の自然環境、地球環境の保全に関わる以下の活動を助成の対象とします。

調査・研究活動、教育・啓発活動、政策提言活動、環境保全の実践活動

(3) 助成の基準

1件4万円を上限とし助成します。

募集年度では同一団体への助成は1件のみとします。

(4) 助成の流れ

- 募集期間 2月機関紙「あをがき」でお知らせ
- 応募期間 3月15日までに所定の応募用紙提出
- 助成先決定 4月理事会
- 助成金交付 助成金請求により助成金交付・HP掲載
- 事業の執行 4月から翌年2月中旬までの事業対象
- 報告書提出 事業終了後1ヶ月(最終翌年2月末)
- 報告集作成 発行

市民生活協同組合ならコープ

〒630-8136 奈良県奈良市一丁目2番2号
TEL: (0742)33-6443 FAX: (0742) 34-8060
ホームページ <http://www.naracoop.or.jp/>

2024年5月
環境エネルギー推進室 発行